



生駒市立鹿ノ台小学校 校長室から H24.10.30

しか小だより No.6

山中伸弥さん

ノーベル生理学・医学賞を受賞！

山中伸弥京大iPS細胞研究所長が、今年度のノーベル生理学・医学賞を受賞されました。業績から考えて当然ともいえますが、日本中が元気になる快挙です。

今年3月の育友会発行の鹿小だよりでも紹介しましたが、山中研究所長は京大に移るまでの5年間、奈良先端大におられたときに、世界で初めてiPS細胞の研究を始められました。

テレビで盛んに紹介されていますが、高校生への講演会の中で「一つの成功のためには九つの失敗が必要です」とおっしゃっていました。まず目標を見つけるために、そして目標を達成するために、失敗を恐れないでチャレンジです。インターネットで「京都賞 高校フォーラム」で検索すれば動画を見ることができます。

第34回運動会「さいごまで あきらめなければ 一等賞」 秋晴れの下、一等賞の笑顔がありました



本公演がラブリータウン生駒で紹介されます



先月末に神奈川フィルのワークショップがあり、合唱や演奏の練習をしました。また、作詞：鹿小のみんな、作曲：丸山雅之の「鹿小讃歌」の2番は運動会の開会式で披露されました。KCNの番組ラブリータウン生駒の「ぼくのわたしの小学校」で学校紹介とともに、本公演の様子が少し放映されます。

サツマイモのつるのきんぴらも 焼き芋もおいしくいただきます



1年生が今月初めに学級園のサツマイモのツルの外側のスジ取りをしました。手を黒くしながら一生懸命にスジを取っていました。そのツルをきんぴらにして味わいました。ほんのちよっぴりでしたがおいしかったそうです。たまには、もったいない精神で大根やニンジン等の皮のきんぴらを一緒に作って味わってみてはいかがでしょうか。「いも掘り」をし、焼き芋もしました。

鹿ノ台自治会ECOKA委員会が、第32回緑の都市賞・緑の地域部門で、都市緑化機構会長賞を受賞しました。中核市や大手住宅メーカー・造園会社と肩を並べての快挙です。



学校保健委員会について

10日に学校医の有山先生、衛藤先生に出席していただいて学校保健委員会がありました。学校から子どもたちの健康状態(虫歯の治療が必要なのに治療ができていない子どもが多いことに驚きました)と食育についての報告後、衛藤先生から専門医の立場からアレルギーについてお話していただきました。日本全体に生じる花粉の重さが、国民全体の総体重に匹敵するという話には驚きました。来年は特に多いそうです。



<コピーライツ> The Land of Hope Film Partners

11月のめあて 丈夫な体を作ろう

朝晩寒くなり、体調を崩しやすい時期です。もうすぐ駆け足が始まります。駆け足を続けて、風邪に負けない丈夫な体を作りましょう。運動後の汗の後始末にも気をつけましょう。そして、何よりも「うがい・手洗い」ですね。

特別展「絹谷幸二」 ～豊饒なるイメージ～



昨年に4年生(現5年生)に特別授業をしてくださった、奈良出身で内外で活躍されている洋画家、絹谷幸二さんの特別展が今月20日から12月16日まで県立美術館で開催中です。

富士山をバックに龍が雲海の上を飛んでいたり、七福神が水上スキーをしていたりと、いつもながら大胆でシュールな発想・構図・色彩で見る者にエネルギーを与える作品とともに、若き日の研ぎ澄まされた感性を感じさせる作品もあります。

11月16・17・18日の関西文化の日は観覧無料です。

左図はポスター(体育館入口)

お菓子としての豆の三食：粒食・粉食・発酵食

新米の季節です。お米は、炊いて粒のまま食べるのが主流ですが、粉にして団子にしたり発酵させてお酒を造ったりします。同じように豆もいろいろな食べ方があります。煮たり炒ったりして粒のまま食べたり、黄粉のように粉で食べたりします。豆を発酵させた納豆を使った落雁(らくがん)を見つけました。一休さんでおなじみの一休寺で作られている寺納豆(ねばりけがなく塩味)です。



希望の国(園子温監督)

3月に9.11に関わったアメリカ映画を紹介しましたが、今回は3.11を日本の映画監督の立場から制作され、トロント国際映画祭で最優秀アジア映画賞を受賞した映画です。

平和な村で暮らしていた3組の男女が大地震と原発事故によって、それぞれの生き方を模索し決断してゆく物語です。

園監督は、インタビューで「あの時、日本で何が起きたのか、今でも日本で何が起きているのか、世界に見てほしい」と述べています。奈良ではMOVIX橿原にて12/1公開。

